

12月号トピックス その後の経過

●植木町今藤地区工業団地の造成関連経費

昨年9月議会で、補正予算を減額する修正案が可決された本件について、市より関連経費の予算案が再提案されました。

経済分科会における論議では、前回の議会で指摘した事業内容の精査が不十分である。また、多額の予算を投下する本事業に対し、今後企業進出による投資経費の回収見込みが甘いなどの指摘が相次ぎました。

さらに、委員の多数意見として、「今回の補正予算案については、土地の塩づけを回避するためには認めざるをえないものの、当工業団地整備に支出した事業費を回収できない場合は、新市基本計画の事業費内で執行すべきである。」と述べられました。

本会議では最終的な議会の意思決定として、提案内容を含む一般会計補正予算案が可決されました。

●上下水道料金徴収の新システム開発経費

昨年9月議会で、予算執行凍結要請を決議した上下水道料金徴収新システム開発経費については、11月24日に開かれた予算決算委員会理事会上において、副市長より報告を聴取し凍結を解除する手続きを行いました。

今回の12月議会予算決算委員会締めくり総括質疑においては、

- ・開発期間が大幅に遅れたことによる費用は、全額新システム開発業者が賠償するべきである。
- ・システム開発業者の開発経過を評価するシステムについては、9月議会での執行部見解と異なる内容の説明が報道機関へ行われるなど議会軽視である。

などの意見が相次ぎ、凍結解除は行いましたが、今後も議会として、システム開発が順調に行われるように監視していくこととなりました。

なお、市長は、新システムが延長された23ヶ月内に完成しない場合、最終的な責任は自らに帰するもので、万全の態勢で臨むとの答弁がありました。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務分科会・総務委員会

補正予算案については、区役所に配置される嘱託職員の雇用・研修や、東京地区で実施された民間企業等経験者採用試験、並びに各種委託業務への高齢者雇用のあり方について論議がありました。また、条例議案では、熊本市附属機関設置条例の一部改正（トピックス参照）のほか、熊本市事務分掌条例の一部改正については、政令指定都市移行に伴い職員に過度の負担とならない人員体制に留意することや、平成24年4月の組織改編による課の配置のあり方について論議がありました。

環境水道分科会・環境水道委員会

補正予算案については、ごみステーションでの違反ごみに対する市民協働の取り組みの推進や、ボランティア活動で出されたごみの収集について論議がありました。（仮称）江津湖マンス（※その後、公募により「わくわく江津湖フェスタ」に決定しました。）については、他部局と一体となった事業PRや集客について、また、市民に親しみのある名称の検討について要望がありました。委員会においては、水道事業の安定経営と民営簡易水道事業の統合について論議がありました。

教育市民分科会・教育市民委員会

補正予算案については、城西中学校敷地内の土地に係る所有権確認等に関する和解の成立について論議がありました。また、委員会においては、熊本市市民参画と協働の推進条例の一部改正についての内容確認が行われ、また所管事務調査として、熊本市教育振興基本計画のアクションプログラムである特別支援教育の充実や学校規模の適正化に関する意見のほか、政令指定都市に向けての教育委員会組織の改編について論議がありました。

経済分科会・経済委員会

補正予算案については、城彩苑・頼当御門間シャトルバス運行に関し、利用実態の把握並びに中心市街地への回遊性の面から費用対効果の検証が重要であるとの指摘がありました。また、観光客の利便性向上のため新幹線口から熊本城への直通運行ルートの設定が要望されました。このほか商店街等プレミアム付商品券発行助成の規模拡大、近隣商店街と連携したわくわく江津湖フェスタの開催、耕作放棄地解消の抜本的対策の実施、イノシシ侵入防止の広域的取組み強化などについて意見要望が述べられました。委員会においては、城南町総合スポーツセンター整備に関し、取得用地の評価方法や立木の保存及び補償基準の見直しについて論議があり、場外車券場設置に関する請願については、ギャンブル施設設置による地域活性化には反対であるとの意見が述べられました。（※今藤地区工業団地造成経費に関する論議は12月号トピックスの経過に掲載）

保健福祉分科会・保健福祉委員会

補正予算案については、生活保護関連経費について、昨今の経済不況に伴い受給者が増えている中、雇用対策などの必要性や職員体制が十分であるのか等の意見要望や小規模多機能型居宅介護事業所（※1）に対する助成や植木火葬場の修理に関する論議がありました。このほか、こころの健康センターの運営に関する意見要望が述べられました。また、委員会においては、母子福祉センターの指定管理及び同制度の見直しに関する意見のほか、市民病院の耐震対策や国民健康保険料及び保育料の減免などについて論議がありました。



都市整備分科会・都市整備委員会

補正予算案については、政令指定都市移行に伴う国県道の管理引継について論議があり、下記2点の要望がありました。

- ・道路施設等の状況について調査を行い、管理引継前に補修等の環境を整えること
- ・カーブミラーや街灯について国県道の管理引継後も利便性の高い本市の基準にて維持管理を行うこと

また、委員会の所管事務調査として土木センターの適正配置に関する意見のほか、公共交通不便地域・空白地域について論議がありました。

予算決算委員会

～審査概要・締めくり総括質疑から～

全議員参加のもと、まず企画財政局より補正予算の概況並びに歳入についての説明を受けた後、6分科会による詳細な審査を行い、締めくり総括質疑を行った後、採決いたしました。

なお、締めくり総括質疑の項目は以下のとおりです。

- ・上下水道総合管理システム開発問題について
- ・各区役所等の職員の適正配置について
- ・土木・福祉部門への人材確保について
- ・発達障がい者支援センター運営業務委託経費について
- ・市民の暮らしの実態についての市長の認識について

- ・雇用・経済対策への取り組みについて
- ・政令指定都市移行に伴う子ども医療費助成の拡大について
- ・わくわく江津湖フェスタの環境フェア開催経費について
- ・全国障害児・者等実態調査経費について

※予算決算委員会の模様は、熊本市議会ホームページの議会中継（公式会議録発行までの間）もしくは委員会会議録をご覧ください。



用語解説 ※1 小規模多機能型居宅介護事業所 高齢者が、今までの人間関係や生活環境を維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」のサービスが一体となり、24時間サービスを提供できるのが特徴